

地小出版  
方小版

情報誌

# アクセス

毎月1回	1日発行
購読料	定価 150円 (本体 143円)
	年間 1,500円 (税込み)
振替	00120-0-19017

発行所 (株)地方・小出版流通センター  
編集 アクセス編集委員会

〒162-0836 東京都新宿区南町20  
TEL.03-3260-0355 FAX.03-3235-6182

## 答えは『信長公記』の中にあっただ!

『証義・桶狭間の戦い』の中で  
これまでにない桶狭間論を展開

文・舟橋 武志

織田信長が今川義元の大軍をやぶった桶狭間の戦いはあまりにも有名である。奇襲による勝利で古戦場が名古屋市と豊明市の二か所できてしまうなど、これほど多くの謎に包まれた合戦もない。地元桶狭間にお住まいの著者尾畑太三氏(78)は「訪れる人に少しでも正確な説明をしたい」との一念から研究に取り組み、その著『証義・桶狭間の戦い』の中でこれまでにない桶狭間論を展開されることになった。

### ◎「隠し文」にだまされてきた桶狭間の合戦

合戦の基本史料と言われているのが太田牛一の『信長公記』(以下『公記』と略)の首巻部分である。これがまた難解で、多くの説を生むことになった。合戦は永禄3年(1560)に起きているが、その年号自体を天文21年(1557)と記しており、不可解なところは自分の都合のよいように解釈されがちだった。

著者はこの首巻部分を暗記するほど読み込むうちに、牛一ならではの独特の「隠し文」があることに気付かれた。『公記』は信長の公式記録と言われているほどのものだが、その首巻は著者の「覚え書き」とか「備忘録」とかいった程度のものだ。本来は別個の書き物が合本されて一冊になっており、そうだとすれば、首巻部分は著者自身になり切って読む必要があると考えられた。

信長の父信秀の死亡年についてはこれまでに天文18年と同20年、21年の三説が出されている。菩提寺の万松寺(名古屋市中区)では20年に葬儀(実



名古屋市緑区の桶狭間古戦場公園に建つ両雄の銅像

は追善供養)が営まれ、位牌は21年となっている。いつ信秀が死に、信長がその跡を継いだかは重要な節目だ。

愛知県江南市で発見された戦国史料『武功夜話』は3年間喪を伏せるようにと遺言して天文18年に死んだとしていたが、これは異説としてしか見られてこなかった。その根拠の一つにされてきた『公記』自身が、実は3年間の秘喪を守っていたというのである。著者尾畑氏がこれを読み解かれた意義は大きい。

それによると『公記』は信秀の死後に起きた春日井の騒動を死ぬ前のこととし、鳴海城の山口左馬助親子が義元側に寝返り、その翌年に赤塚の戦いが起きたとしているが、それぞれ実際より3年ずつつらすなどの“工作”をしていた。これによって『公記』に基づくこれらの年号は否定された。

鳴海城の左馬助親子の離反が桶狭間合戦の伏線となっていた。左馬助は信秀が死ぬと隣接する大高、沓掛の両城主を誘い義元側に寝返ったが、牛一が桶狭間合戦の年号を故意に天文21年と書いたのは、3年ずらした親子の離

反した年に合わせたものだった。合戦の描写の中にも“隠し文”があり、その解釈を巡ってはまるで『魏志倭人伝』を読むにも似て様々な議論があるが、著者はそれらを見事に読み解いてみせている。

詳しいことは同書に譲るが、『公記』は義元がこの左馬助親子を駿府に呼び、切腹させたとも書いている。これも真っ赤なウソで、親子は赤塚の戦いで死んでいた。戦いを引き分けのように過小に書いているが、親子が戦死するほどの激戦だったのである。

### ◎郷土史は野に在る“偉人”を振り起こせ

桶狭間の合戦は多くの謎を残した。左馬助親子が寝返らなければならなかった原因は何だったのか? 信長は桶狭間へのルートを通って行ったのか? また、義元は来てもしなかったのに『公記』はどうして「今川義元沓懸に参陣」と書いたのか? その義元はなぜ鎌倉街道から遠く離れた大高城を目指したのか? そして、その戦略とは一体どんなものだったのか? 尾畑氏は『公記』をはじめとする多くの史料を読み解くことにより、これまでにない論陣を張られている。

タイトルに「証義」と付けられたのも著者である。小生の頭の中には「証義」という言葉そのものがなく、せいぜい考え出せても「徹底検証」とするくらいのものでしかなかった。これも数多くの文献をあさり、その真偽などを見極めてこられた著者ならではのものだ。

これまでだれもが不思議に思いながらも、なかなか読み解けなかった『公記』の首巻部分。とりわけ桶狭間の戦いは年号や方角なども写し間違いなどとして片付けられ、様々な議論を呼ぶことにもなっていた。著者は地元にいる強みも生かし、本書で一つの結論を出された。

これを学者でも研究者でもない在野の人が成し遂げたというのも痛快である。小社ではかつて『武功夜話』を世に出した故滝喜義氏の研究成果を『前野文書が語る戦国史の展開』と題して出版している。今回のそれも従来の説

を野に在った人がひっくり返したという点で共通するものがある。

『証義・桶狭間の戦い』は一種の研究書である。これに続いて著者の案内で桶狭間までを歩く拙著『織田信長が駆け抜けた道』というガイドブックも

出した。硬軟2書があいまって、桶狭間の合戦を解明する一助にでもなればと思っている。

(ふなばしたけし・ブックショップマイタウン代表)

## 新刊ダイジェスト

※価格は総額(税込)表示です。

### 『みかんの面白いむき方大百科』 ●中村孝司著



何の道具もなしに、ただただ丸いみかんの皮をむき、何かの形にする。ユーモアの原点みたいな温かい一冊。著者は20年前に友人から教えてもらったユニークな「みかんのむき方」に雷にうたれたような衝撃を受け、以来ずっと面白いみかんのむき方を研究・開発してきたという。2009年YouTubeに動画をアップしたところ現在までシリーズ38万再生を更新中。自分以外のひと「み

かんのむき方」を楽しんでくれることに喜びを感じたそう。せっかくだからと自信作24作品をまとめて出版するに至ったという。「腕時計みかん」「指輪みかん」など「…」といったものから「ハンドバックみかん」「手裏剣みかん」などちょっと気になるものまで。

◆945円・四六判・78頁・スモール出版・東京・2010/12刊・ISBN978-4-905158-04-2

### 『幕末の土佐 清岡道之助』 ●吉良川文張著

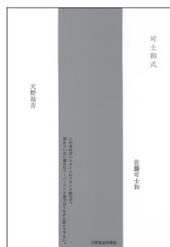


清岡道之助は名もなく若き土佐藩の郷士である。山内一豊の移封以来長く虐げられてきた郷士たちは、激動の幕末において土佐勤王党の結成により、藩より国事の周旋、尊王攘夷という大義名分を与えられて燃え上がった。だが、政変により藩は非情にも彼等を切り捨てる。捕らわれた武市半平太ら同志を救出するため、清岡は22士を糾合して立ち上がるが果たせず、逃れた阿波藩から

引き渡され、取り調べもないまま徒党強訴の汚名を着せられて、奈半利川原で斬首される。私を棄て、憂国、理想実現に命を賭けて散っていった無名の青年たちの無念を、史実の注釈を加えながら、小説仕立てで浮かび上がらせる。

◆1800円・A5判・288頁・飛鳥出版室・高知・2010/11刊・ISBN978-4-88255-136-2

### 『可士和式』 ●佐藤可士和・天野祐吉著



ユニクロのロゴをデザインしたアートディレクター佐藤可士和と「広告批評」創刊者の天野祐吉。本書は二人の対談と佐藤が自らの歴史を語る島森路子のインタビューから成る。明治学院大学のブランディングを手がけた佐藤と天野のキャンパスでの公開対談。講演会に天野が助っ人参加をしてユニクロや広告業界について語り合い、「広告批評」のメモリアル・イベントでギャラリートーク

を繰り広げる。二人の独自の視点がどの対談にも溢れており、“すぐれた広告の表現者は、同時にすぐれた批評家でもある”という天野の言葉が新鮮。なお、本書は古いフランス装丁で、天の部分切りながら読む方式。これも時代に対して批評的な天野の発案である。

◆1575円・四六判・165頁・天野祐吉作業室・東京・2010/11刊・ISBN978-4-905016-02-1

### 『幕末のロビンソン -開国前後の太平洋漂流』 ●岩尾龍太郎著



幕末の太平洋漂流というと、ジョン万次郎ばかりが有名であるが、実は、嵐に遭うなどして無数の日本人が漂流していた。本書はその中の万次郎を含む8件を例にとって、波瀾万丈、歴史に翻弄された彼らの人生について述べる。

彼ら漂流者はアメリカ大陸、ハワイ、フィリピン、中国各地に漂着したり、海上で運よく外国船に拾われたりといういろいろだが、当時、鎖国をして

いた日本への帰国は困難を極め、港で入国を拒否されて漂流先の国で生涯を終えた者も多かったという。その一方で、日本に開国を迫るアメリカ、イギリス、スペイン、ロシアなどの欧米各国は、保護した漂流日本人を交渉の際の有利なカードとして利用したという。

◆2310円・四六判・330頁・弦書房・福岡・2010/11刊・ISBN978-4-86329-050-1

# 売行良好書

期間：2010年12月16日～2011年1月15日

【出荷センター扱い】※税込み価格

- (1) 『みかんの面白いむき方大百科』 945円・スモール出版 (2) 『河野裕子』 1890円・青磁社 (3) 『いのちの乳房』 2625円・赤々舎 (4) 『いい会社をつくりましょう。』 1260円・文屋 (5) 『野菜のミニおかず210』 1050円・ベターホーム出版局 (6) 『ルワンダ ジェノサイドから生まれて』 3465円・赤々舎 (7) 『めまらろう』 1680円・東京子ども図書館 (8) 『誰にも聞けなかったドラッグの話』 1470円・アスクヒューマンケアー (9) 『戦国の聖地を巡る 一江・浅井三姉妹博覧会公式ガイドブック』 1260円・サンライズ出版 (10) 『クラゲに学ぶ』 2520円・長崎文献社 (11) 『広田弘毅の笑顔とともに』 1785円・弦書房 (12) 『自閉症の子どものたちの生活を支える』 1575円・筒井書房 (13) 『おから百珍』 2200円・G.U企画



【三省堂書店神保町本店4F—センター扱い図書】※税込み価格

- (1) 『東京かわら版 1月号』 420円・東京かわら版 (2) 『いのちの乳房』 2625円・赤々舎 (3) 『河野裕子』 1890円・青磁社 (4) 『本と酒と俺 1号』 500円・田中都麦 (5) 『昭和プロレスマガジン 22』 1000円・昭和プロレス研究室 (6) 『円周率100万桁表』 330円・暗黒通信団 (7) 『山陰の古事記 謎解き旅ガイド』 500円・今井出版 (8) 『ノー・フューチャー』 2940円・洛北出版 (9) 『生活考察 2』 780円・辻本力 (10) 『まつろわぬもの』 2940円・寿郎社

【ジュンク堂書店新宿店—センター扱い図書】※センター出荷データより/税込み価格

- (1) 『Bon Appetit 9』 550円・Bon Appetit (2) 『昭和プロレスマガジン 22』 1000円・昭和プロレス研究室 (3) 『HOT CHILI PAPER Vol. 62』 1500円・エイチ・シー・ピー (4) 『夜想 #ベルメール』 1575円・スタジオ・パラポリカ (5) 『超新撰21』 1890円・邑書林 (6) 『人間と気』 1890円・どう出版 (7) 『ハーブティー その癒しのサイエンス』 1365円・フレグランスジャーナル社 (8) 『河野裕子』 1890円・青磁社 (9) 『肉体のアナキズム』 4410円・グラムブックス (10) 『非モテ男のためのカッチリ系ファッション入門』 315円・暗黒通信団

以下ホームページでも各種情報提供を行っております。ご利用ください。  
<http://www.bekkoame.ne.jp/~much/>

## トピックス — ★★

### ▼首都圏出版人懇談会設立20周年

首都圏出版人懇談会は、関東地域を中心に1都7県をフィールドとして出版を続けている出版社17社で構成される任意団体です。1990年(平成2年)12月の設立から2010年で20周年を迎えました。これまで主に、加盟社による「共同目録」の発行、出版技術と経営の研鑽を目的とした研修会の開催、首都圏各地の書店とタイアップしたブックフェア開催等が実施されてきました。今年20周年記念事業として、以下のような企画が予定されています。

●明治大学図書館ギャラリーでの全出版物展示。  
テーマ：関東の地域出版・全仕事～地域文化を耕す  
20年の歩みとこれから～(仮)、入場無料、期間は5～6月のうち約1ヶ月間。

●三省堂書店神保町本店での共同フェア。2000冊ほどの規模で、5～6月のうち約1ヶ月間。因みに現在の加盟出版社は以下の通り。

神奈川県：有隣堂 230クラブ新聞社 かまくら春秋社 江ノ電沿線新聞社 夢工房 東京都：けやき出版 埼玉県：埼玉新聞社 さきたま出版会 幹書房 まつやま書房 群馬県：あさを社 栃木県：随想舎 茨城県：筑波書林 STEP 千葉県：たけしま出版 岩手県：歴史春秋社  
また最近の刊行物では以下のようなものがあります。  
『西さがみの地名』(夢工房刊1260円) 『市民が選んだ さいたま百景』(さきたま出版会刊1890円) 『水代官 山口鉄五郎』(随想舎刊1890円) 『会津人群像No.18』(歴史春秋社刊1050円) 『滝山産業人国記』(岩手書房刊3990円) 等々。

## 郵便販売のご注文方法

◎お名前、お届け先(郵便番号、住所)、連絡先お電話番号、ご注文品の書誌名、冊数の必要事項を明記のうえ、下記までFAXでご連絡ください。

◎送料は、冊子小包・メール便共実費でお送りさせていただきます。基本的にメール便は、一冊210円でお送り致します。(メール便の到着は、発送してから3～4日かかります。)お急ぎの方、その他ご要望がございます場合はお気軽に下記までお問い合わせ下さいませ。

◎なお書籍お買上総計(税抜き価格)が5,000円以上の場合は、送料をサービスさせていただきます。

★地方・小出版流通センター

FAX：03-3235-6182

地方・小出版物のデータになります。綴じて保存してください。



# 三省堂書店

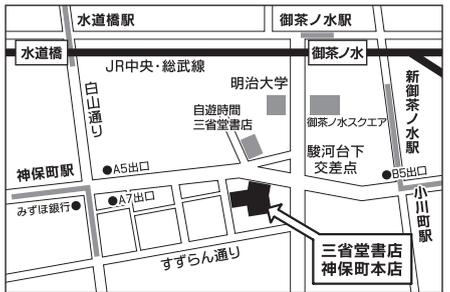
BOOKS SANSEIDO

**神保町本店 4階**  
**地方出版・小出版物フロア**

営業時間 10:00 AM～8:00 PM  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1  
TEL. 03-3233-3312(代)  
URL. <http://www.books-sanseido.co.jp>

**営業の  
ごあんない**

本店4階売場では、地方・小出版流通センター扱いの新刊全点のほか、地域別に書籍を取り揃えております。また、地域ならではのタウン誌、趣味の雑誌も扱っております。



水道橋駅 御茶ノ水駅  
JR中央・総武線 明治大学  
白山通り 自遊時間 三省堂書店  
御茶ノ水スクエア 駿河台下 交差点  
●A5出口 ●A7出口 ●B5出口  
みずほ銀行 すすらん通り  
三省堂書店 神保町本店